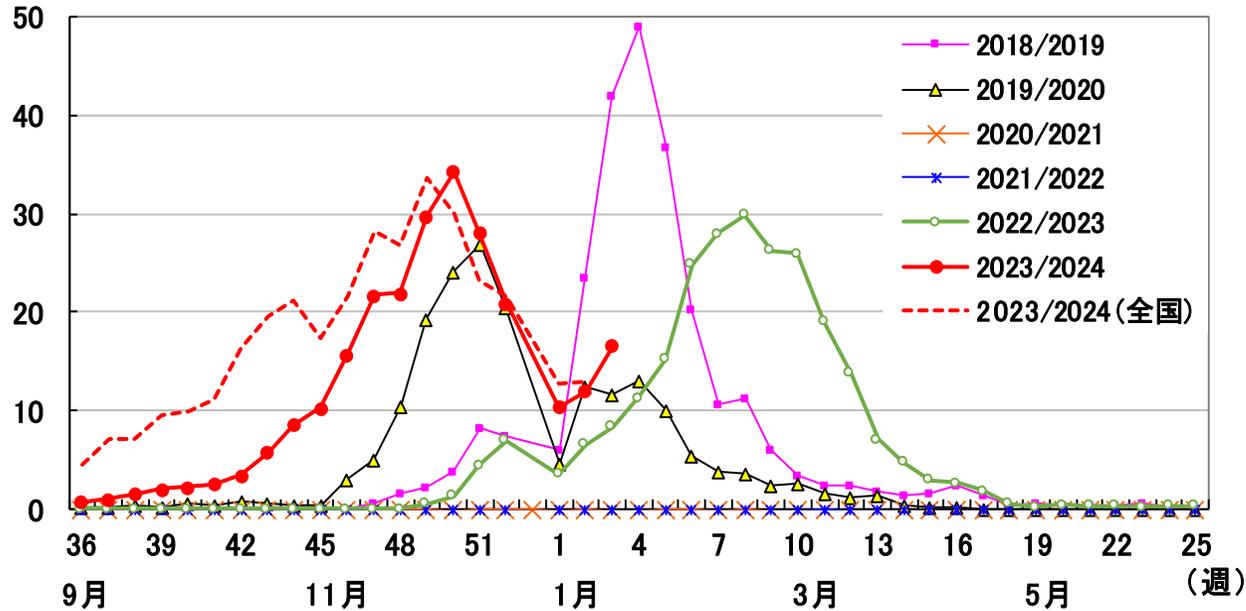


インフルエンザの発生状況(富山県)

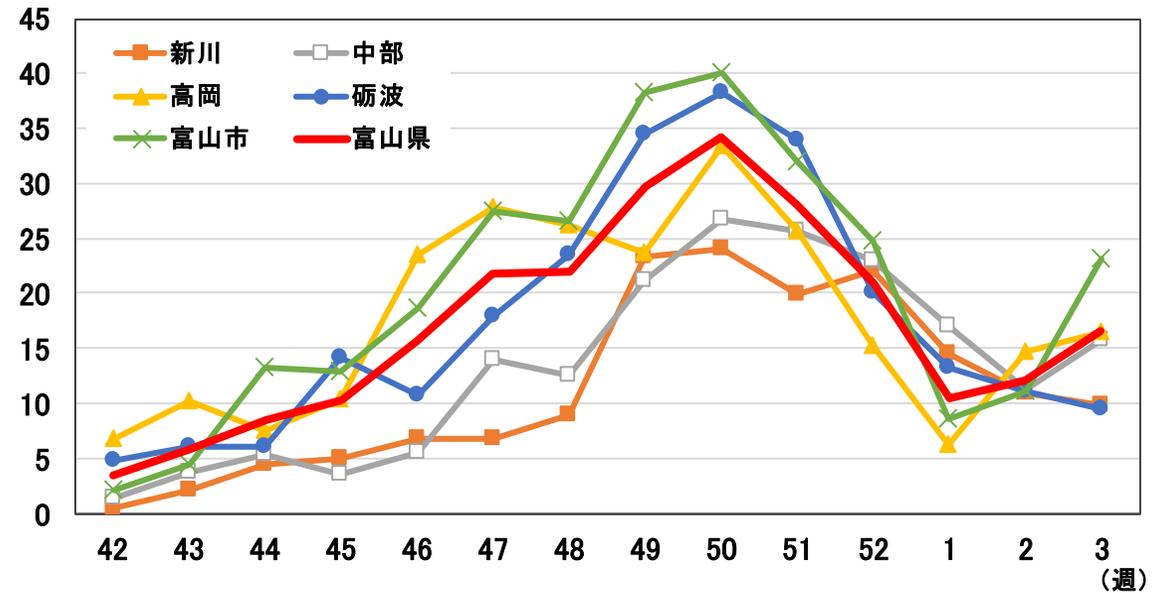
【第3週(2024/1/15~1/21) 感染症発生動向調査速報値 (2024/1/24時点)】

(人/定点)

図1. 患者報告数の推移(富山県)



(人/定点) 図2. 厚生センター・保健所別患者報告数(2023/2024)



- 富山県の患者報告数 (図1) は今週 (第3週) **16.60**人/定点となり、先週 (12.04人/定点) からやや増加した。
- 厚生センター・保健所別に見ると (図2)、富山市、高岡、中部管内で先週から増加した。一方、新川、砺波管内ではほぼ横ばいであった。

図3. 年代別割合(富山県、第3週)

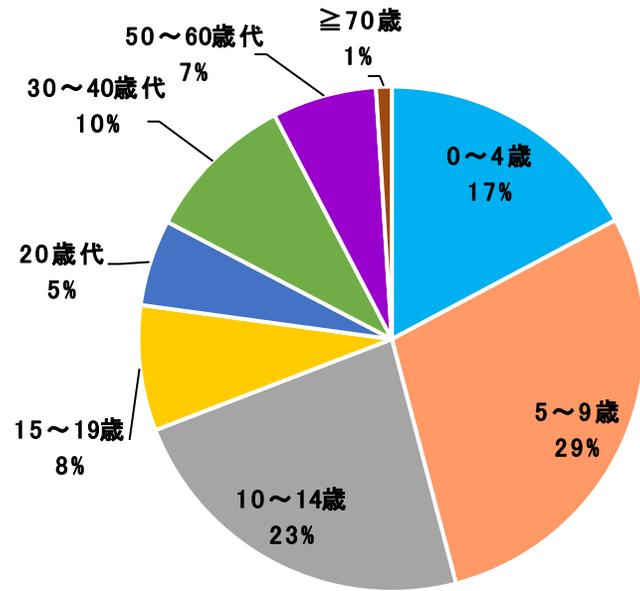
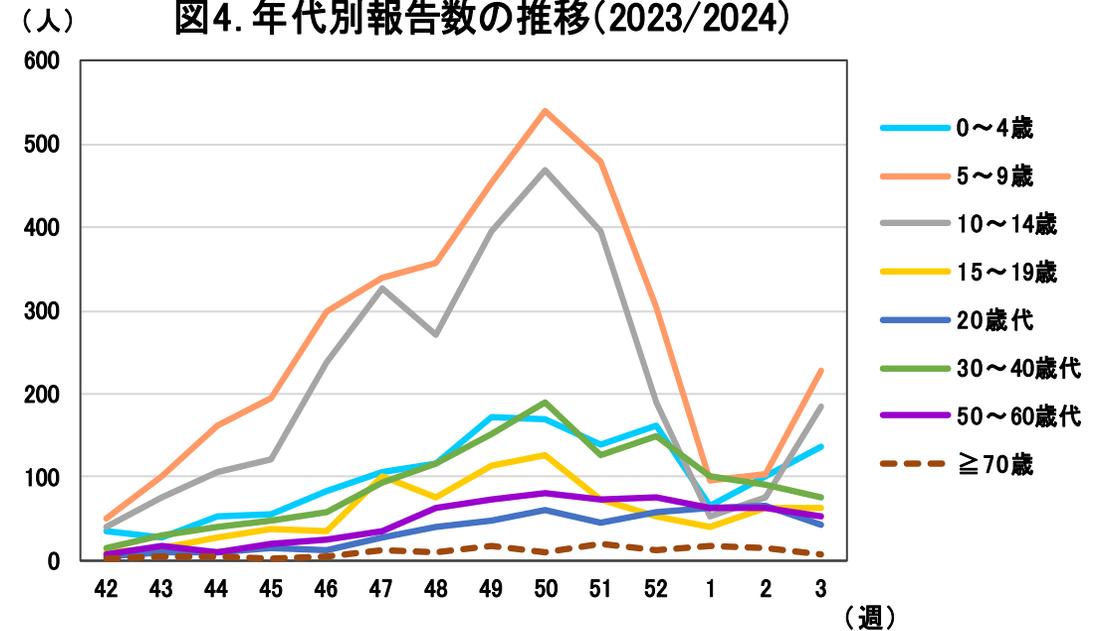


図4. 年代別報告数の推移(2023/2024)



- 富山県の第3週の年代別割合（図3）では、15歳未満の小児が69%を占めた。
- 年代別報告数の推移（図4）では、15歳未満（水色、橙色、灰色）で先週から増加した。その他の年代では先週から横ばいであった。
- インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は第3週に17件（小学校5件、中学校5件、高等学校7件）の報告があった。

富山県インフルエンザ関連情報HP : <https://www.pref.toyama.jp/120507/kurashi/kenkou/iryuu/kj00007295.html>

図5. 都道府県別インフルエンザ報告状況(第2週)

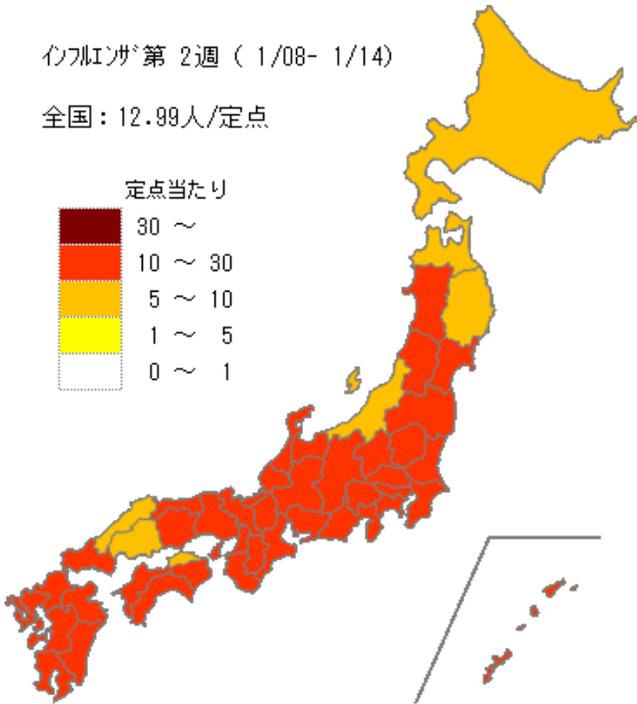
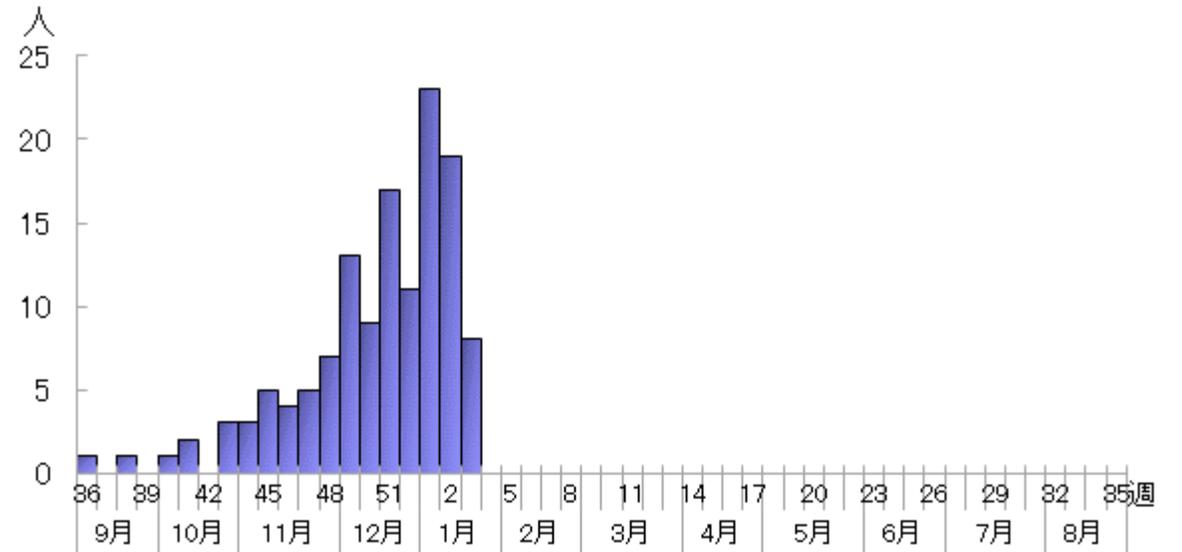


図6. インフルエンザ入院患者報告数(第3週)



- 全国では第2週に12.99人/定点となり、第1週(12.70)から増加した。都道府県別(図5)では、40都道府県で注意報レベルの目安である10人/定点を超えている。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象に実施するインフルエンザ入院サーベイランス(図6)では、第3週に8例の報告(10歳未満:2例、40歳代:1例、60歳代:1例、70歳代:1例、80歳以上:3例)があった。
- インフルエンザ定点の患者報告数は増加傾向にある。
今後の更なる増加が懸念され、引き続き動向を注視する必要がある。